

平成29年度第6回吹田市男女共同参画審議会 議事録

開催日 平成29年12月4日(月)

開催時間 (開会)午後2時00分 (閉会)午後4時00分

場所 吹田市役所 特別会議室

内容 1 第4次すいた男女共同参画プランの基本方向について
2 その他

出席委員 石蔵 文信 北嶋 紀子 小牧 規子
玉井 眞理子 寺本 尚美 鶴田 岑生
平野 和子 櫻井 和子 西岡 昌佐子
坪井 素子 谷口 裕哉 小谷 訓子
出口 都彦

出席市職員

市民部男女共同参画室長 杉 公子
市民部男女共同参画室参事 千葉 淳
市民部男女共同参画センター所長 畑澤 由佳
市民部男女共同参画センター所長代理 潮見 智昭
市民部男女共同参画室主幹 飯尾 由美子

傍聴者 なし

平成29年度第6回吹田市男女共同参画審議会

平成29年12月4日（月）

午後2時00分～午後4時00分

吹田市役所 特別会議室

○会長

吹田市男女共同参画審議会を開会します。

まず、審議会の開催要件について報告をお願いします。

○飯尾男女共同参画室主幹

本日の審議会委員の御出席の確認でございますが、13名中13名の委員の御出席をいただいております。従いまして、吹田市男女共同参画推進条例施行規則第10条第2項による成立要件、委員の半数以上の出席を満たしております。

○会長

次に、本日の会議傍聴の申し出はありますか。

○飯尾男女共同参画室主幹

本日の傍聴希望者はございません。

○会長

それでは、事務局から資料の確認をお願いいたします。

○飯尾男女共同参画室主幹

（資料確認）

○会長

それでは、議題に入らせていただきます。

基本方向Vから事務局の説明をお願いします。

○千葉男女共同参画室参事

基本方向Vの男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備から説明します。

前回の基本方向Vの資料に、A委員からいただきました御意見を反映したのになっています。表現につきましても白黒で見づらい部分はありますが、A委員からいただきました内容で修正しました。もともと男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備の基本的な考え方のところ、男女のバランスを御指摘いただいたものを取り入れまして、「基本的な考え方、現状と課題」として整備しています。

現状を示すグラフにつきましては、当初は前回は踏襲しまして在住外国人の推移を載せていたのですが、典型的な姿を示すのに必要なものかと御意見を頂戴しましたので、グラフを絞りまして、2ページから3ページまでにかけて、吹田市職員における女性の登用状況、吹田市の各審議会等への女性の参画状況の推移、自治会活動における女性の参画、PTA活動における女性の参画の割合の現状に絞りました。

5ページに「市はこのようなことに重点を置いて取り組みます」ということで表を付けています。基本的には前回の第3次のプランを踏襲して作っています。最後8ページの「計画推進の指標」ということで、基本的には第3次計画で示しました指標を、そのまま踏襲する形で示しています。これが事務局で作成しまして、事前に皆様のお手元にお送りしました案です。

この後にA委員からさらに修正の御意見をいただきまして、資料当日をお手元に配っています。後程、委員から御説明いただきますが、基本方向Vについての説明は以上です。

○会長

A委員の案を叩き台にさせていただいて、資料VとA委員の御意見の反映の大きな違いを御説明いただきましてから、みなさんの御意見をいただきたいと思います。

○A委員

大きく直してはいません。文章のところは数か所しか直していませんが、赤字になっているのは、前回御提案したのがそのまま赤字になっています。今回新たに御提案した点は、赤字の中でも下線が入っているところだけです。文章があまりに長いので、「基本的考え方」と「現状と課題」をずっと読んでいるのはつらいのではないかと思ったので、関連する図表を間に入れて、図表を見て休みながら文章を読むという形にしたのが変更点です。

最初に文章の違いですが、2ページ目の真ん中の段落、「34.5%と緩やかに向上している」となっているのが、「緩やかに上昇しています」の方が自然かなということで変更しました。3ページの上から5行目ですが、PTA会長はむしろ女性会長が100%だということだったので、文章で、幼稚園のPTA会長には男性の就任を促すなどという一文を入れて、男女がともに積極的に地域活動にと繋がった方がいいのではないかということで、入れたのが2か所目。3か所目は4ページの上から7行目あたりの「重要であり、リーダーとなる人を養成する必要があります」と一文にした方がすっきりするのではないかと、それだけの直しです。

図ですが、今回事務局が図にしてくれたのがビジュアル的に見やすくなったので喜んでいますが、少しだけ図を修正させていただいて、「グラフ1」ですが、グラフというか図というか他と統一していただきたいと思います。

次に、吹田市職員における女性の登用状況ということで、課長代理級以上の職員の数、うち女性の数、女性の割合を棒グラフと折れ線グラフとで示していただいているのですが、棒グラフで示しているのも折れ線グラフにしているのも中身は一緒なので、折れ線グラフだけにした方がすっきりするのではないかということです。折れ線グラフの場合、どうしても起点を0にしなければならないという決まりはないのですが、メモリが20.5%から24.5%とあまりに小さすぎるので、増えたように見えるのですが、このメモリでは若干嘘になってしまうので、動きはあったのですが、大きくは動いていないというのが現実なので、ここは0から30ぐらいのメモリにして0を起点とした折れ線グラフにした方が実態を表している。動きは見やすいですが、あまりに細かいメモリは不自然なのでそうされたらどうかと思いました。

「グラフ2」ですが、棒グラフは基本的に起点を0にしなければならないので、例えば平成24年度のところで、審議会の数が82、うち女性委員のいる審議会の数が74なのですが、青い棒グラフと赤の棒グラフを見ていただくととも82と74に見えませんが、棒グラフは0を起点にしなければ棒グラフの意味がないので、もし棒グラフのまま残すのであれば、総数が82のうち女性のいる審議会が74なので、積み上げ型の棒グラフにして、一本の棒グラフで表すか、むしろどちらも折れ線グラフにするか、それと起点は0にというのが、そういった形で作り直していただく必要があるというのがコメントです。

「グラフ3」ですが、起点は0ですが右と左が同じような体裁で並んでいて、メモリの片方が0%から25%で、片方は0%から100%で、どちらも起点を0にさせていただいているのですが、まったく別々なら許容はできるのですが、隣に並んでいてこれはどうかと。片方に100%があるので、やはり100%でそろえるしか方法がないのではないかと。図にさせていただいたことで見やすくはなっているのですが、数字の時には起こらなかった読み間違いとか、意図的ではないですが嘘に読み取れてしまうようなグラフ上のまやかしが生じてしまう危険があるので、それを回避した形で、せっかくグラフにしたので生かす形でさせていただいたらなと思いました。

最後に施策と事業を列挙していただいています、ここは一応何々に取り組みますと文章で書くことになっていたのですが、修正していったというところです。最後に何々しますと付け加えただけの項目もありますが、落ちているのではというところを加筆したものがあります。

基本課題3までしか目を通せなかったのですが、4についても外国人女性との交流支援とかもおかしいなと思いましたので、また目を通したいと思います。以上になります。

○会長

それでは、A委員の資料で進めます。これを見ながらグラフは後で見やすいように。僕も気になっていたのですが。あとは内容ですが、全部文章で行くとするとIからIVまでもこの形でのよろしいですか。他の資料を見ていると「します」が入っていたり、「啓発」で終わっていたりします。Vはこの形でのよろしいですか。

○千葉男女共同参画室参事

特にIIとIVが体言止めになって修正できていませんが、それに関してはこちらで修正をやらせていただきますので。IとIIIとVのようにしたいと思います。

○会長

グラフと基本課題と中身を精査していただいて、何か御質問とかございませんか。

○副会長

基本的な質問ですが、最後の計画推進の指標の目標値等というのは、第4次の最終年度である2022年にとということでのよろしかったでしょうか。それは書いておくのか。どこか冒頭に書くのか。いつまでにとというのが見えないかなと。

○B委員

それぞれに書かれているのが一番望ましいのではないですか。

○千葉男女共同参画室参事

どこかに書いているというか、都度都度の方が見やすいかと。

○副会長

平成が使いづらくなるので、西暦で現すのか。

○千葉男女共同参画室参事

市としては、公文書は基本的に元号。それを補う形での西暦になっていますので。

○会長

VをやってIに戻ります。

○C委員

2ページの「グラフ1」と「グラフ2」ですが、グラフの中に数字が書いてあるのですが、白黒で資料5と見比べるとグラフの中に数字を書くの見にくいので、数字を書くなら上にあげてもらった方が見やすくなるのですが。

○千葉男女共同参画室参事

最終的には2色刷りになります。見やすい体裁にします。

○会長

図に関しては僕と各委員とでもう一回確認します。「グラフ 3-1」と「グラフ 3-2」ですが、必要ですかね。

○千葉男女共同参画室参事

積み上げのグラフで、男性と女性しかないのですが、幼稚園小学校中学校と単一の自治会と連合自治会とでかなり違いがあるということを出そうとすると、棒グラフを使うのであれば積み上げの方が見やすくなるかもしれません。色分けをどうするかがあるのですが。

○副会長

「グラフ 3-2」については視覚的にわかりやすいので、あってもいいのかなと思います。

○D委員

前は気づかなかったのですが、PTAでは圧倒的に会長の名前は男性で、実際は女性が副会長で副会長がやっている。幼稚園は出てこなかったですね、お父さんが。保育園での保護者会はわりあいお父さんがやっているのですが、幼稚園はなかったのですね。促すという文章が入ることで気づきました。

○会長

保育所のデータはあるのですか。

○千葉男女共同参画室参事

PTAでなく保護者会なので、もし数字があれば対比という形であれば。保育園での保護者としての参画ということでいうと、保育所、幼稚園、小学校、中学校とで違うということ、出せば比較してみたいなと思います。調べてみます。

○B委員

学童保育連合会という形で、PTAという形での活動は確かなかった。

○千葉男女共同参画室参事

並列に並べていいものかというところもあります。

○会長

Vはこのあたりでよろしいですか。

○D委員

具体的に書いてあるのは市内事業所の女性の人材育成、前はとても簡単に書いてあったので、より具体的な内容を書かれているのでなるほどなと思いました。

○会長

それではIをお願いします。

○杉男女共同参画室長

変更したところは、3ページの一番上のところ、介護というところが抜けていまして、「(2)事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供」の4項目目、「長時間労働の削減、男性職員の育児・介護休業の取得促進などの意識啓発を行い、男女ともに働きやすい職場づくりを進めます」介護が抜けていたので育児・介護休業と追記しました。それと人事室しか載っていませんでしたので、担当室課へ地域経済振興室についても企業向けにも働きかけをするということで入れています。5ページ目のなお書きのところ

ですが、男女共同参画室、男女共同参画センターは、担当する業務のほか、すべての取り組みについて協働しますに変更しています。今回グラフを2ページ目に示しています。

○会長

Iについて気になる点を御指摘いただければ。

%表示が全角になったり半角になったりしています。どちらかに決めていただければ。半角の方が見やすいかと思いますが。

○杉男女共同参画室長

では、すべて半角表示といたします。

○B委員

2ページ目のグラフ、「男は仕事」「女は家庭」ですが、もう少し大きく出していただければ、大事な調査なので。レイアウトが難しいかもしれませんが、もう少しわかりやすく。

○千葉男女共同参画室参事

他のデータブックに出したものをそのまま貼り付けていますので、もっとも意識啓発に重要な部分ですので、国とか府の比較ものっていますので、ここはパッと見てわかるようにします。

○会長

次回にはレイアウトも出していただかなければ、御意見がうかがえませんので。文章で何か気になるところがあれば。

○副会長

最後の「計画推進の指標」で、Iに関しては目標値の下に何年度という記載があるのでいいかもしれませんが、「男は仕事、女は家庭」の平成32年度の目標値、男性30%未満は何か根拠がありますか。単純にみると男性の減り率が高いので、男性は20%未満でもいいのかも。何か根拠はありますか。

○杉男女共同参画室長

より到達しやすい数字ということで、こういう形をとっているのですが、まだ達成していませんので。

○会長

計画の最初からの目標値ですから、我々変えられないでしょう。

○副会長

平成32年度は4次計画の途中に来てしまうのですね。

○会長

大事な図はここに入れて、あまり大事でないのは後ろにもっていくということになっていたのでしたっけ。前は本文とグラフが分かれていたのを合体するというので。細かい図はなくなるということですね。

○千葉男女共同参画室参事

基本的には本文の中に「現状と課題」を入れ込んで、特別後ろに統計ばかり集めたものやグラフばかり集めたものを設けないうもりでいるのですが。

○杉男女共同参画室長

現在、前にグラフとして載せているものしか残さないつもりです。

○会長

かなりありますね。

○千葉男女共同参画室参事

データブックも別に作ってしまっていて、計画も5年に一回ということですので、載せてしまったら5年間使っていないといけないということを考えますと、なかなかグラフや表がたくさんあったとしても時間とともにどんどん古くなってしまいますので、「現状と課題」の記述の直接助けになるものを載せるということにしようかと思います。

○会長

ものすごく減りますよね。前の認識でいうと重要なものを文章に入れて、あとは後ろにと。

○A委員

前は意識調査のデータがかなり載ってしまっていて、意識調査報告書ではないので男女共同参画に関する意識だけを本文中に載せるということ。基本方向Iに関してはこれ以上特に必要ないかと思っています。同じく担当したVについてもこれでいいのかと思っています。

○会長

DVの方にはグラフかなりありますよね。

○千葉男女共同参画室参事

DVについては出さないといけないものがあります。それに関してはどんな形で出すかは次回までにこういう形で出していこうということを示します。

○会長

基本はグラフを割愛の方向でいいですか。大事なものは文章に入れていくと。その方が見やすいと。認識としては必要でないものは後ろに置いておくと思っていたのですが。必要なものがあれば後ろに付けるということ。Iに関してはこのグラフだけになるということ。

○B委員

計画の最終年は平成34年度で、目標値としては平成32年度という中間になる。

○千葉男女共同参画室参事

基本的には5年目標値というのが、計画の最終年です。

○会長

調べていただいて、早めにご回答いただくと。

○千葉男女共同参画室参事

意識調査がちょうど計画年の始まる前々年に行っているの、今度の意識調査はここだろうということを出していることになってしまっていて。ただ、目標ということなので必ずしもこだわらなくてもいいのかと思いますが、見られた方は調査を中間年でやっているのを知らないので、実績値についてはいついつの調査と明記しますのでわかるのですが。目標値が次の調査がこの年だからこの調査にしているというのはわからないと思います。

○会長

基本課題の書き方はこれでよろしいですよ、A委員。

○A委員

はい。

○会長

ここはグラフが一つだけ。目標値の書き方とグラフをきれいにさせていただくと。次はⅡについて説明いただけますか。

○千葉男女共同参画室参事

Ⅱについて、基本的には変えておりません。

最初に御指摘いただいた、どういうグラフを出していくかどういう数値を出していくかというところで、最初は国全体の傾向とかを色々数字で出していく方向だったのですが、吹田の計画なのでできるだけ吹田のものをという御指摘をいただいたので、吹田で持っている数字を出すという形にしています。「重点を置いて取り組みます」ですが、具体的な取り組みの内容が全部体言止めになっていますので、他の基本方向と同様に改めます。

○会長

これについてもだいぶんグラフが前と変わっていますね。グラフが小さい。

○副会長

「現状と課題」の初めの3行ですが、ここはグラフを入れてもいいのかなと思っ
まして、女性が仕事を持つことに肯定的な市民の割合は男女共に8割を超えている。平成22年度は平成17年度より減ったのですね。もう一回、今回8割に回復しているという流れがあるので、ここはグラフを入れた方がいいのかなと。入れていただいている表の上の表はあまり意味がないのかと思っ
まして。回答事業所数が減っているから取得している人が減っていったのか、何を訴えたくてこの表を入れたのかがなかなか見えてこない。

○千葉男女共同参画室参事

どうしても絶対数が減っているということがありまして。ただ、これについては、任意の調査でやっ
ていまして母数が減ると減ってしまう。例えば%で示すには事業所の正確な従業員数を取らないとできないのではないかと。%とかグラフで出すのが難しかったので、実績の数、絶対数を出しています。

○副会長

この表はあまり実態を反映している表だとはいえないのではないかと。アンケートの取り方が、どんな取り方をしたらこうなるのか見えてこない。男女共同参画がとっている統計ではないのですよね。載せなくてもいいのかと思うのですが。

○千葉男女共同参画室参事

国の統計はあるので、国全体の傾向はある程度わかるのですが、なかなか吹田でというところになってしまっ
て、ここはより根拠というか信頼度がある数字ということで、根拠数字を探します。どうして減ったのかと、担当している地域経済振興室に聞きに行くと絶対数が減っているのだと。回答数が増えたり減ったりするので、比較できないと言われまして。これではなく、全国的な数値とか、もう少し信頼性、精度の高い調査に基づくものを提示させていただく。育休・介護休業は実態を避けては通れない、基本方向Ⅱのなかでは重要な部分だと思います。実際に国の数字を見ると伸び悩んでいるというのが現状だと思います。意識は少しずつ着実に変わっていった。しかし、一人ひとりの行動が変わっているかというところではない。何とかそれをわかるようなものを出していきたい。

○D委員

不十分ながら取得者が圧倒的に少ないことがわかるし、男性がいかに取りれていないかが読み取れるかなど。育児と介護で割合が違っていくとは思いますが。

○E委員

対象者のうちどれだけの割合かが知りたい。取得者が圧倒的に少ないというのはわかるし、育児・介護での割合が。

○会長

いきなりではなく丁寧な説明のなかに入れていかないと。出すとしたら丁寧な説明を。

○B委員

本文の中に読み取れるものがあればわかりますが、このようにポンと表だけがあっても、本文の説明をするために表がないと。これは唐突すぎるというか。

○E委員

前回の3次計画の71ページの指標のところに、現状の率が載っていますよね。

○副会長

「計画推進の指標」の中に平成27年度も書いてあるので、数字としては2つありますね。利用者も出ているので、男女差は出ないけれども。

○A委員

先ほどのVを見ていただいたのですが、必ずグラフ何参照という形で、本文のなかに参照と入れてそばに表を持ってくるという形で統一しているのですが、表だけをもってくるのは無理かなど。表は、何参照という形で本文のなかに入れていただければと。育児休業と介護休業と一緒にするのは難しく、育児休業だけでもかまわないので、どこかの年度でもいいですし、市の事業者計画を出しているある程度大きな企業のデータだけでもいいですし、従業員数の何%とか、人数を出してもだめかなと思うので、とれる範囲で出していただいて、吹田市の中での育児休業の取得率を模索していただいたらと。全国のデータを出しても意味がないので。吹田市内で取れるデータで出すということを可能かどうか検討していただければと思います。

続けて下にある待機児童のグラフなのですが、利用児童数が棒グラフで待機児童数が折れ線グラフなのですが、どちらも人数ですので、棒グラフを重ねるという形にする。メモリが違うことになるのは仕方がないことなので、同じように人数をやっている一つが棒グラフで一つが折れ線グラフなのはおかしいかなど。そちらも合わせていただいたらと思います。本文とセットで御参照と載せていただいたらいいかと思います。

○千葉男女共同参画室参事

労働担当により取得率の詳しいデータはないか訊いてみます。

一番いいのが、0を挟んで上下にもってこられたらわかりやすいかと。

○副会長

「現状と課題」をみていて、一番冒頭の基本方向のチャート図のなかに待機児童の解消が触れられていないのは、今の吹田の現状から一言どこかに書くべきではないかと思っていまして、似たような言葉では、基本課題3の(5)で、企業内保育の実施など保育環境の整備促進とあるのですが、企業内保育よりもまずは待機児童の解消の推進とかに変えた方がいいのかなど。ただ、それを女性活躍推進の枠の中に入れていいのかというところはありますが。

保育の充実という言葉はありますが、待機児童の解消という言葉はない。

○会長

待機児童の解消は違う部署ですよ。子育ての方なので。

○千葉男女共同参画室参事

もともと第3次の中で保育の充実という言葉に止められていたらしくて。表の中で待機児童数をはっきりと出していくのを見ますと、これがなくなっていくというのは児童部とも相談しますが、本文で説明を入れるとなった場合に、当然、児童部の計画に沿った形で取り入れられたらと思います。

○A委員

入れるとすると、1の「ワーク・ライフ・バランスの推進」のところになるかと思います。(4)の後に具体的取り組みを加えてもいいなら(5)を入れて、そこに待機児童と入れるか、保育所の整備充実を推進するという文章を入れるとする。具体的取り組みとして保育所の整備充実と入れる方がふさわしいかと思います。

○副会長

3-(5)は残しますか。保育環境の整備推進という若干重複しますよね。

○F委員

企業内の事だから分けてもいいのではないですか。待機児童とは別。

○D委員

A委員がおっしゃるように3の(5)を削除してもいいかと。先に企業内保育がくると、保育全般というイメージ、個別課題として、もっと大きな意味では1に来た方がいいかと。

○副会長

(5)の文章は企業内保育だけではないですよ。

○A委員

副会長がおっしゃるように、企業内保育の実施など保育環境の整備は削除して、ワーク・ライフ・バランスに入れて。部会の中で企業内保育を是非ということだったら、文章の中で触れるということで。保育所の整備のなかに公立保育所だけでなく企業内保育の充実も含まれるので違和感はないのかと思いますが。

○会長

当初、子どものところを削ってばらしているので、基本課題の1のワーク・ライフ・バランスの5番目に入れるということですね。文章的には。

○A委員

保育所の整備充実という形でしょうか。

○会長

1-(5)ですよ。異論がなければ。説明のところに図を入れてしまう。3-(5)は削除して文章で書きこむ。

○E委員

市はこのように重点を置いて取り組みますに加えないと。

○副会長

2ページの下から3段落目で、働きやすい職場環境を作るためには、セクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメントの防止対策の推進も重要な課題となっていますが、法改正が重なっておりまして、マタニティハラスメントや、育児休業を取る男性へ圧力をかけるイクハラとかハラスメントは色々ありまして、社会的にも認

識をもたれているかなというところで、等を入れて少し概念を入れた方がいいのかと思ったのと、それに関連して、4ページの基本課題2の(3)の下から2つ目で「セクハラ防止の対策に取り組んでいる事業者の公表」これはいつも吹田市がされているのですか。セクハラ防止は結構どこの事業者もしているのでは違和感があった。

○千葉男女共同参画室参事

当たり前になったので、公表する必要はないと。ずれている感じはありますので。法律が整備されて義務になったので。

○会長

外すということによろしいですか。

○B委員

2ページ目のところのセクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメント、イクメンハラスメントまで書いて等にするのか。新しい感じはするが、くど過ぎると言えば確かにそうかなと。

○会長

ハラスメント3つ続くので、セクシュアル、パワー、なんとかハラスメント等では。

○副会長

パワーハラスメントは男女共同の話なのかという話は出てきますが。

○千葉男女共同参画室参事

むしろパワーハラスメントは様々なハラスメントに入れるとして、マタニティハラスメントかイクメンハラスメントか。

○A委員

略称で、セクハラ・マタハラ・イクハラ等とするのがいいのでは。

○会長

イクハラは解らないでしょう。

○A委員

パワーはもういいかなと。

○副会長

イクメンのメンに若干抵抗があります。女性が育児休業をとるのに、同僚や会社から圧力がかかるというのも問題で、マタハラだけが女性で、メンと入れるのに若干抵抗があります。女性同士でも子どもがいない方は、私ばかりにしわ寄せがくるということで同僚間でのハラスメントが今話題にもなっていますので。

○会長

育児ハラスメントはあるのですか。

○A委員

マタニティハラスメントの中に育児休業を取った男性に対するハラスメントも含まれるかと、他の言葉ほど浸透はしていないですね。

○会長

「セクハラとマタハラなどのハラスメント」にしますか。F委員と副会長と早めに、御了解いただいたうえということによろしいですか？

○副会長

もう一つ議論したいのが、第3次の22ページ23ページあたりが、今回の基本方向Ⅱのグラフになるのですが、全部落としても大丈夫ですか。M次カーブのグラフ4の女性

の年齢階級別労働力率のグラフを落としてしまうことにちょっと勇気がいるような気がします。吹田市の男女の家事労働時間の積み上げグラフはあるのですか。現状と課題のところで、女性に家事育児時間が偏重しているのではないかという文章のところがありまして、端的にあらわせるグラフがあったらいいかと思ひまして。グラフ3もおもしろいですが。女性が低収入だという。

○会長

グラフ4は入れた方がいいですか。入れるにしても対応する文章がないといけないので、文章を考えていただいて「グラフ1」と「グラフ4」を入れるということで。Ⅱに関してはだいぶ変わりますので、出口先生、北嶋先生に確認のうえ提出してください。育児・介護と寺本先生ずっと言われていますが、今までの流れではずっと育児・介護をくっつけていますよね。どうしますか。男性の育児・介護と先ほどあったのですが。

○千葉男女共同参画室参事

介護の休業の割合はすごく小さいですが、家庭生活の両立の中で一番問題となるのは育児と介護が大きなウェイトを占めていますのでセットにしているのですが。

○A委員

両方データがあれば両方出すのがいいのかと、人数を育児・介護をセットにしてデータを出すのはどうかと。両方データがあるのであればいいですが。もし人数的に極端に少ないようであれば、文章に合わせて育児・休業だけでもいいかなと。グラフはあくまで補足なので。

○副会長

6ページの「計画推進の指標」の一番下の段の目標値等が「増加を図る」となっていて、みなさんと議論した方がいいかと思っていました。たぶん何%と書けないので、こう書かれたのだとは思いますが、このまま公表するのは迷いが出てしまう。

○A委員

もともとの「計画推進の指標」では挙げていたので、導入を抜いて、育児休業の取得率だけにされたらいかがでしょうか。本来育児休業はどこの企業でも取得できるはずなので、例えば就業規則に育児休業を組み込んでいるということなのか、取得率だけを%で出されるのがいいのではないのでしょうか。

○千葉男女共同参画室参事

本文の中でどういう数字があるかということになったので、その数字に即した目標値、ある程度現状から見て変化の度合いから見て、これくらいはならないとだめだろうと、なかなか目標がうまく出せないかということ、ずっと横ばいでいつまでたっても伸びない。そうなるといつまでも伸びない目標となってしまうので、なんらかの根拠のある数字を出すような形で考えます。

○C委員

今の表の一番下ですが、「増加を図る」というところの上の表は、何年に実施したかがわかるのですが、下のところは7.8%とか0.5%とかいつの数字ですか。

○千葉男女共同参画室参事

左側に書いていまして、平成27年度の調査に基づく数字になっているので、いつの調査かが左側にあり、体裁のばらつきがありますので見やすい形に変更します。

○副会長

考え方としては内閣府が出している男女基本計画の目標値が、参考数値になるのかなと思います。

○会長

確認ですが、2 ページの一番上の吹田市内事業所における育児・介護休業取得者数を載せる方向でよろしいですか。

○A委員

上は市職員の男性職員の育児休暇、指標で出す以上本文で出さないといけないのですがどこかに載っていましたか。

○会長

かなり変更が必要になりますがここは。この表は出しますか出さないですか。

○B委員

本文にも活用できるものが見つかれば載せるということで。

○副会長

ひとつの候補としては7 1 ページの2 段目に、平成 21 年度の育児休業利用者の%、介護休業の利用者の%が出ていまして、平成 27 年度の目標が計画推進の指標に入っている数字が同じ数字のはずなので、何かグラフ的なものが出せれば端的で一番拾いやすいのではないかと思うのですが。

○千葉男女共同参画室参事

前回計画で出しているので、根拠は調べます。もちろん本文でそれに触れるように適切なものに差し替えます。

○会長

みなさんに回して、次あまり時間がかからないようにしていただいて。悪ければ悪いなりに現状を指摘していただいて。

Ⅱに関しては、次出てくるのを待つということでよろしいですか。Ⅲをお願いします。

○杉男女共同参画室長

前回と変わりましたのは、「現状と課題」2 ページですが、前回の審議会で、性的志向に違和感があるというお話がありましたので、念のため確認したいと思います。性的志向といいますとLGBTのLGBまでを表現しているとなるのですが、これでいいのかと迷うところがありましたので、確認したいというところです。

○会長

公的文章でも使われているのですか。

○杉男女共同参画室長

最近市町村が広報誌で、どんな表現をしているか見ていたのですが、例えば摂津市が作っているものですが、カミングアウトとは性的志向などを表明することとなっていて、ここでも性的志向などLGBTを使っているものがあります。

○副会長

国は性的志向と性自認を併記しているのではないですか。どちらかしかないというのはあまり見たことがないので。

○B委員

性的志向は一般的に受け入れられているのですか。むしろ今はLGBTの方が一般にはよく使われているのではないかと思うのです。LGBTと書いて(性的志向・性自認)とするかLGBTを詳しく説明する方がわかりやすいのではないかと思うのですが。

○会長

前回その議論があつて、まだLGBTがそこまで言葉が浸透していないかというのがあつて、説明するよりはという話になっていまして。LGBTはそれだけではなく広がって行って無限になるので難しいと。

○杉男女共同参画室長

基本課題の方に移りまして、前回、かなり言葉足らずの部分がありましたので、赤字部分の補足をしています。最後のなお書きも変更しております。

○B委員

5ページのところは、LGBTという言葉を使うのですね。(LGBTを含む)とある。

○副会長

結構市民権はあると思うのですが。先ほどのところを性的志向・性自認(LGBT)にするとわかるのではないですか。

○会長

ここは表が二つ入っているのですが、他にはそんなに表はなかったですか。

○副会長

「表1」の実施率は、実施率で言葉足りませんか。女性の総人口に対する妊娠中絶件数のことですか。

○A委員

厚生労働省のデータですね。大きなスペースでこれを出す必要がありますか。要らないのでは。

○会長

わかりにくいのであれば、なしでもいいですか。

○副会長

吹田のデータがあるのであれば、いいと思いますが。

○会長

割愛しますか。「表2」の平成27年度に急に上がったのは、説明が入っていますが、よろしいですか。

○副会長

子宮がんは受診者数が減っているのに、数字がものすごく増えている。

○杉男女共同参画室長

説明の部分をわかるように文章を考えます。

○C委員

6ページの(4)の下で「男性料理教室」、さっきのⅡの3ページの(3)のところに入るのではないですか。父親や定年後の男性に向けた講座で、ここだけ上の表が合わないような気がする。

○会長

直接関係がなければ省いてもいいですか。

○B委員

重なるとしても担当室課が違っているのがなぜなのか。目的が違っている。やっていることは同じようなことでも。啓発の仕方とか広報の仕方とか異なっているということなのではないですか。とすれば、重なってもかまわなと思うのですか。

○会長

文章的には介護と直接関係のない文章なのでⅡに入れた方が、介護の部署を書いていないですからね。

○副会長

7ページの「計画推進の指標」の目標値を平成34年度にした方がいいと思います。表2の%と同じ数字を拾ってきているのですね。だとしたら平成27年度だけでいいのではないのですか。平成27年度との比較で考えればいいのではないのですか。

○杉男女共同参画室長

はい。それでは平成27年度のみとします。

○会長

Ⅳをお願いします。

○千葉男女共同参画室参事

Ⅳにつきましては、基本的な考え方で「現状と課題」が前回入っていなかったもので、書いたうえで暴力の根絶のための各種の施策事業を掲載しています。計画の指標においては、従来DV防止法の認知度とかすいたストップDVステーションの認知度をあげていたのですが、配偶者等による暴力、今は被害を受けた方の救済をやっているのですが、やはりこれを予防するのはどうしたらいいのかというところで、やはり若年のころからの暴力を許さないという教育というか啓発が大事だということで、新たな指標として中学校におけるデートDVの防止啓発の講座をしているのですが、吹田市内の公立中学校は18校あるのですが、4校程度しか一年でできないという状況がありまして、これを残らずすべての学校で実施するというのを目標としています。

○会長

表がまったくないので、35ページから38ページまでの表がありますよね。ここは入れておいた方が、なくなってしまうとね。

○副会長

「グラフ3」だけははずしてもいいのでは。セクハラは。本文にセクハラのことを書かれていますか。

○千葉男女共同参画室参事

セクハラは「現状と課題」でも触れていない部分がありまして、吹田市の実際の調査に基づく、本文としてこういう実態がありますということも御紹介させていただく必要があるかと思います。

○会長

DVは大事なので、表は要りますよね。

○千葉男女参画室参事

これに関しては、DVを体験した人は実際非常に多い。そういう経験をした人のほんの一部が相談という形で表れてきている。経験している人、DVでもハラスメントでも行き当たった人がたくさんいらっしゃるということを出していかないといけない。

○副会長

第3次の「グラフ1」と「グラフ2」が配偶者と交際相手に分けてあり、かなりどういうDVを受けたか内訳で細かくなっているのですが、ここまで分けると逆に見にくくなる気がする。「現状と課題」の本文に近い、交際相手や配偶者から何らかの暴力を受けたことがある人が全体の何%でしたっていうのが、グラフの方で見てわかるのではないかと。一つにまとめた方がいいのではないかと。

○千葉男女共同参画室参事

さまざまな形の暴力がある。色んな暴力があるということでみなさんに知っていただくのは大事ですが、こんなにいらっしゃるということを書いた方が重要かと思います。

○会長

人によっては、DVを暴力とは思っていない人もいます。

○千葉男女共同参画室参事

複数回答かわかりませんが、ある程度端的に出していきたいと思います。

○会長

これがDVなのかと思っている方もいらっしゃいますから。35ページの「グラフ1」を出すか出さないかですが、啓発にはいいと思いますが。

○副会長

個人的には、「現状と課題」のどこにも相談しなかった人が44.2%でというこのグラフは入れてもらった方がいいのではないかと。これ結構重要な数字で、顕在化しているDVというのは氷山の一角だとわかるので、このグラフを新たに入れてもらった方がわかるのではないかと思います。

○会長

グラフを入れてもらって、私が監修します。全部大事なので。文章と合わせて。

○B委員

2ページの「暴力は」から始まる文章ですが、3行目に「男女が共に対等な構成員として」の、構成員というのがかたくてわかりにくい。対等な市民とか。対等でいいのではないですか。

○E委員

7ページで児童虐待防止対策の推進とあるのですが、これも本文中に全然出てきていない。

○千葉男女共同参画室参事

前の第3次を分解したので、IVの暴力にもってきたのですが、本文の方の意識が欠けていまして。

○副会長

27ページの「グラフ2」が吹田の児童虐待相談件数の推移になるのですが。

○会長

文章をもう少し付け加えて。27ページの「グラフ2」を入れて虐待に関して。

○A委員

児童虐待はここに入れる方がいいですか。児童虐待は、表だけを入れたり、少し書くよりはむしろ触れない方が、子どもの計画の方に委ねた方がいいような気がするのですが。

○会長

子どものところは基本計画から削っていて、色んな所にばらした結果、ここに入れたったという。あらゆる暴力の根絶なので、あまり無視して触れないのはどうか。

○A委員

文章の書き方を男女共同参画の観点から児童虐待を取り上げて、その観点からこそ言えるのだという文章を書いていただきたいなど。

○千葉男女共同参画室参事

男女共同参画の立場からの児童虐待、面前DVとかは配偶者に対する暴力が児童虐待につながっていく、そういうように書いていく。

○副会長

ゼロ歳児はほとんど虐待者がお母さん、ということは男女の観点から。

○会長

ここは残して書くと。

IIとIVがだいぶん手を入れないといけないので、部会の代表の方々が先に目を通してから配る。

○A委員

IVの最後「市民のみなさんも取り組んでみませんか」というところが、ちょっと数が多いので、「地域全体で子どもを育てる意識をもちましょう」とか、「地域全体で子どもを育てる意識を持ちましょう」とか、もういらぬんじゃないかと。ここに児童虐待関係でどうしても市民の方へということを書きたいのであればそういう文言で書いていただくということで、今のままだとここには書かないでいいのではないかと。

○会長

どうしても子育てと我々がかぶってくることが多いので。若干のかぶりは仕方ないですが。その他として事務局から何かはありますか。

○千葉男女共同参画室参事

なかなか文言を練っているのですが、見えていないことを御指摘いただきありがとうございます。次回が一応締めくくりとなりますので。その後に答申をまとめないといけない。見るたびに色々出てきますが、細かいところは会長副会長にお願いすることになります。一月下旬から一か月間パブリックコメントを取ります。また御報告しますので、よろしくお願ひします。

○会長

それでは以上をもちまして、本日の審議会は閉会といたします。